

## 川越手をつなぐ会の歴史

川越手をつなぐ育成会は、昭和28年に当時の川越第二小学校（現川越小学校）が新設され、入級の児童の親たち、校長、担任の14名で、親の会として発足しました。

平成8年、これからは親たちだけの会ではなく、兄弟姉妹・親戚、そして福祉に理解ある身近な人たちの協力と参加が必要と言う意味を込めて「親の会」から「育成会」に改名し、今日に至っております。

育成会では、市に施設の充実を求めたり、会員の研修の場を設けたり、情報を集めて会員に発信したりして、暮らしやすい社会をつくることに力を尽くしています。

～今日までの主な成果を紹介します～

- ・ 川越市立養護学校（現在 川越市立特別支援学校）の設立に協力
- ・ 社会福祉法人「親愛会」川越親愛学園（現在 川越親愛センター）を開設
- ・ みよしの授産学園の開設
- ・ デイケア施設初雁作業所  
（現在 NPO法人ほうき星）の開設
- ・ ことぶき生活支援センターの開設
- ・ すばるの会（本人たちの会）の開設
- ・ サポートハウス川越の開設



これからも障がい児（者）のために安心して生活できるよりよい環境づくりをめざしていきたいと考えております。

川越手をつなぐ育成会  
埼玉県川越市小仙波町5丁目12-3  
電話・FAX 049-226-3223  
Email kawaiku@orion.ocn.ne.jp